

# 会報

## THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA

### 4月



第 399 回 例 会 1967.4.25 (火) 晴

例 会 場 鶴岡市馬場町 商工会議所 3階会議室 (2) 5775番  
事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (2) 5775番

### BETTER WORLD THROUGH ROTARY (ロータリーでより良き世界を)

卓 話 商売には「ガメツサ」を 会員 今間壮太郎君  
出席報告

本日の出席	会 員 数	57名
	出 席 数	41名
	出 席 率	71.93%
前回の出席	前回出席率	66.67%
	修正出席数	48名
	確定出席率	84.21%

欠 席 者 安藤君、阿部(襄)君、千葉君、五十嵐(伊)君、金井君、三浦君、森田君、中山君、大竹君、斎藤(信)君、鈴木(弥)君、佐藤(寅)君、佐藤(忠)君、高橋君、津田君、辻君

ピ ン タ ー 武田健君一山形西RC  
原田行雄君、佐藤徳一君一鶴岡RC  
小松一君、本間義勝君、佐藤善三君  
一酒田RC  
片桐敬弼君、宮崎賢暎君一新潟南RC

ゲ ス ト 五十嵐八郎君、荏司繁太郎君、  
アイリンさん

ソ ン グ それでこそロータリー  
リーダー 三井(健)君

司 会 会長 早坂源四郎君

#### 連絡事項

会 長 報 告 新会員になられます、鶴岡魚類株式会社社長五十嵐八

郎さんを池内君より御紹介願います。  
新会員鈴木昭司さんを小花君より御紹介願います。  
池内君 前に五十嵐さんよりソレン視察のお話しをお聞きした事がありますが、鶴岡魚類の社長で柏戸後援会の副会長として、御尽力されている方です。  
小花君 鈴木さんは仙台生まれで、明治生命鶴岡営業所長さんです。クラブのSAAを担当することになりました。

卓 話 商売には「ガメツサ」を  
今 間 壮 太 郎 君

今日の日本の産業はすばらしく発展を遂げている。昔は設備がないとか金がないとかで、色々な悪条件がありました。

昭和14年頃、つまり戦争当時1台の施屠機械を買いのに100円の金がなかった。30円はどうにかして都合出来たんですが、残りの70円がどうしても足りない。そこで銀行に70円を貸してくれと頼んだのですが、その当時の貸付課長さんはいったいその機械を鍋元にやったら、いくら位で買取るんだといわれましたが、スクラップにすれば1台30円位はなるだろうと話したんです。そうしたら30円なら貸してやろうといわれた事もありました。

当時は設備をしたいんだが金がない、ところが当時戦争の最中で、当社では手榴弾を作っていましたので幸いにも県が保証して当社に貸付てくれたのです。その時10,000を借りて設備をふやしたんですが、その当時は国がどんどん金を貸してくれたので今日の日本の産業の発展をみるのも一つの原因であると思います。

今日の発展で日本の輸出が非常にのびて来ました。アメリカに30%、中国に2%、この差をみても我が日本は

どうしてもアメリカをたよりにどんどん輸出をしていかねば先進国とはいわれぬ。現在の日本の産業は人手がたりない、その人手をどこから求人するか、もっと農村が機械化をして農村人口を減らしてやらなければならない。

現在我が国では農村人口は24%となっております。これを機械化することによって巧みなり8%位の人で食糧品を作らないとこまるんで、アメリカの農業人口は3%です。日本も少なくとも10%以下の人でやらなければならないのです。東南アジアあたりでは農業人口が70%、残りの30%で軍人や役人や商業となっております。我が国でも機械の導入化して工業人口をもっともっと増やしていかなければなりません。

当社では今年度色々な研究に4,850万円の多額をみて研究に当っております。又毎年50件位の特許もっております。

現在当社では大阪の某会社一社より全生産額の35%年間8億円位の注文をもらっておりますが、これがなかなか大阪の人というものは商売が非常に熱心で、物を買うのにも「ガメツイ」商売はこのような根情がないとだめなんで無駄な事は絶対しない。我々も大いに学ばなければならぬ。当社でもこの「ガメツサ」を参考にして品物の購入も一円でも安く買っております。こうして仕入れは安く、販売も安くして売らなければならないのです。

とにかく経営者は「ガメツサ」を忘れてはならない。

#### ㊦ 企業と電子計算機 (その2) 黒谷正夫君

それから最近非常に発展している事業と衰微して行く事業、専門家から見ますとあの企業は危いと云う様な事は、その企業の盛んな時から解ります。もっとも鶴岡の場合は2~3年ずれてその現象が現われます。これは田舎の特徴でもあります。都会であれば既に精算して居る様な会社が、田舎の場合、未だのうのうとして続いていると云う事です。

これは何が原因か、発展と低落、或は田舎的な構造、これは何によって起るか、それはやはり企業をやる方の勉強が足りないと思います。

例えば或るスーパーの場合積極的に本を読んだり、顧問を3人もつけて非常な勉強をやっている事です。又、経済指導も受けております。

次に鶴岡の場合企業者同志の団結心が欠けていると思います。例えば県議選等で経済界の代表すら当選出来ない、全く情けない話であります。この点私共経済人としても深く反省しなければならないと思います。

さて本論に入りまして電子計算機のことですが、最近電子計算機の導入が盛んになって参りました。日本はアメリカには比較になりませんが、とにかく世界では第2位でございます。

日本には昔からそろ盤や九、九と云う便利なものがあります。日本人の計算能力の優秀さが日本経済を大きく伸長させた要因になったかも知れません。数学能力は世界一とも云われています。私どもは少しでも電子計算機の知識があってもよいではないかと思つて。そして今後この鶴岡にも電子計算センターを設けて皆さんで活用をされたら如何がでしょうか。

電子計算機というのは一つのプログラムによって動いています。例えばここに売上げファイルがあるとします。そこでその中の商品構造とか、売上構造を機械語にして先づ記憶させるわけです。次は仕事の手順を教えてやります。機械というものは能力のある反面、非常に馬鹿なもので何から何まで細かに教えてやらなければならない。例えばお茶を呑むと云う場合、先づ手で茶わんをにぎれ——口まで持ってこい——口に傾けなさい——それを戻しなさい——茶わんをおきなさいと云う処までやらないと機械は動いてくれません。もしここで傾けなさいという処までしか指示しなかった場合は傾けたままで、どんどんお茶はこぼれてしまいます。従って止れという最後まで指示しないと永久に動いて居ります。

一つの例を申し上げますと電子計算機によって選挙速報(推定)ということをやります場合、計算の要素と手順を教えねばなりません。それは各地域に於ける各候補者の地盤というものがあつて。これは各社新聞記者の調べと、各選挙事務所の地域毎予想得票を聞いて参ります。

この様なデータや投票率を電子計算機に記憶させ、電子計算機はこれを算術的平均法により、全部の開票の前に当落が判明するわけです。

この様に使い方によっては電子計算機は非常に面白いものです。私は鶴岡の経済界に於て何時頃使われるか問題ですが、これは皆様と共に研究して行きたいと思つてます。

#### ㊦ 幹事報告 笹原桂一君

例会変更・宮内RC 4月26日(水)を  
4月30日(日)に変更  
5月3日(水)は祝日の為休会  
・米沢西RC 5月2日 館山公園  
12.00~13.30

新役員通知・宮内、盛岡、仁賀保  
会報到着・仁賀保、八戸、石巻

#### スマイル

銘酒 大山 加藤嘉八郎酒造KK  
山形県工業試験所主催 清酒鑑評会優等上位入選  
仙台国税局奥羽六県主催 清酒鑑評会優等上位入選  
大蔵省醸造試験所主催 清酒鑑評会優等上位入選

#### 献立

刺身一ひら目 焼魚一マツ 味噌汁一しい茸、豆腐